



## 読書マラソン完走

今月はお二人をご紹介します。浅野葵さんが5回目のゴール(=500冊読破)を迎えました。吉田初羽さん(小野小3年)は2回目のゴール(=200冊読破)を達成しました。お二人にはバッチと記念品が贈られました。

参加申し込みはカウンターで随時受け付けています。皆さんの参加をお待ちしています。



浅野さん



吉田さん

18の春。青雲の志を抱き、社会人一年生として小野新町駅を出発する。

あれから良き齢を重ね78歳になった今、当駅の発祥の歴史に関心を持ち図書館で日本鉄道史を調べてみました。

明治5年(1872年)、新橋から横浜間が日本初の鉄道。「汽笛一斉新橋を…」有名な言葉です。その後、国会で「鉄道敷設法」が成立しました。

法成立から42年後の大正4年(1915年)、三春から小野新町間ができ、3年後には郡山から三春、小野新町から平の間ができました。トンネルが17本、難工事であった夏井川を渡る鉄橋が9本、全長85・6キロの線路がついに完成し、磐越東線が開通しました。

当駅も数えて107歳となり、長寿者?です。

私にとって当駅は人生の道程表でした。修学旅行、部活の対外試合、遠足、冠婚葬祭、友人知人の送迎などなど。駅のホームは別れや再会の場。涙、笑顔など感情豊かな情景がありました。

昔から変わらない駅舎のたたずまいは、帰郷した私を慰め穏やかに「ホッ」とさせてくれます。



小野新町駅の思い出

**郡司 知吉**

東京支部・谷津作出身

ふるさと小野町会ふれあい通信

# ふるさと 文化の館 情報

☎ふるさと文化の館  
☎72-2120